

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	弘前学院大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ヒロサキガクインダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	北海道・東北地方
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	企業等実習
	学部・研究科等名	文学部
	担当教職員名・役職	生島美和・文学部学生主任
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	11
受入企業等数	8	
受入企業等名	(株)東横イン、(株)マエダ、(株)成田本店、五所川原市役所、東北化学薬品(株)、相馬保育所、青い森鉄道、青森市役所	
インターンシップの分類	6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ 10. 地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	平常業務、接客、営業ほか
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次・3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	自由選択科目のうちの「社会人基礎力」支援科目群の一つに「企業等実習」の科目名で位置づけ、シラバスを作成し、それに基づき実施している。キャリア教育の一環として、働くことの意味や社会人になるための基礎知識を学ぶことを目的とし、教育効果として企業や社会の働きを実感し職業観を確立するとともに、今後の進路選択、就職活動の判断材料となることを期待している。	
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	自己分析、業界・企業・職種研究、企業が求める人物像の探求、社会人として必要なマナーなど
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	振り返りのレポート作成、および報告会でのインターンシップ経験の意義や神子評価についての報告
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい	

要素④	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前には、自己分析およびインターンシップに向けての目的や課題についてのレポート作成・発表を実施している。また事後は、レポート作成・報告を行う中で、自らが学んだことや就職活動・就業に向けての意識や行動の変容を述べることにしている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	授業時間内で16コマ(固定、1コマ90分)と、インターンシップ実施期間3～5日
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
要素⑥	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	授業時間内で16コマ(固定、1コマ90分)と、企業等でのインターンシップを3～5日(実施期間は企業によって異なる)
	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
要素⑦	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業担当者にインターンシップ期間中での日誌の確認・コメント記入、および全体を通しての評価を依頼し実施していただいている
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.hirogaku-u.ac.jp/18jijyusentaku17.pdf
問い合わせ先	大学等名	弘前学院大学
	担当部署名	就職課
	担当者役職名	就職課長
	担当者氏名	野呂昌文
	電話番号	0172-37-3754
	メールアドレス	noro@hirogaku-u.ac.jp